

名古屋市とリンナイ株式会社が協賛 『中川運河再生文化芸術活動支援事業 (ARToC10^{アートックテン})』

リンナイ株式会社（以下リンナイ）は、平成 25 年より名古屋市と共同で「中川運河再生文化芸術活動支援事業（ARToC10 アートックテン）」（以下「ARToC10」）に取り組んでいます。

名古屋市と共にリンナイとゆかりのある「中川運河」。リンナイの本社所在地は現在、名古屋市中川区福住町ですが、創業の地は中川運河の堀止めに位置しておりました。昭和元年（1926 年）、中川運河建設のため立ち退き、現在の堀止め南側の場所に移転しております。

中川運河は昭和 5 年の完成当時は「東洋一の大運河」と呼ばれ、昭和 30 年代は名古屋港と名古屋都心を結ぶ水運の軸として、名古屋の経済・産業の発展を支えていましたが、運河の水運物流の減少のため、現在は水運の軸としての本来の役割は終えており、名古屋市民からも忘れられた存在となっています。

そこで名古屋市は、都心の間近に佇む貴重な水辺空間としての中川運河を、人々が集い新しい交流の場として再生するため、平成 24 年に「中川運河再生計画」を策定しました。

当社はその主旨に賛同するとともに、当社のモノづくりの原点ともいえる豊かな発想力は、人の感性にうったえる文化芸術活動と相通じるものがあると考え、当助成事業へ参画させて頂くことで、モノづくりに必要な想像力の芽を育み、ひいては地域交流の活性化や産業育成に貢献できることは大変意義あるものと考え、助成事業への支援を行っております。

【概要】

助成事業の内容：

「中川運河再生計画」において位置づけられた「にぎわいゾーン」における市民による文化芸術活動を支援するための助成。

※現代アート活動を、この「にぎわいゾーン」において実施し、中川運河近辺の活性化を図る。

助成事業の主体：

（公財）名古屋まちづくり公社名古屋都市センター

助成団体の選定：

名古屋都市センターが設置する選考委員会で決定



今年度で3回目の活動となります平成27年度ARToC10助成文化芸術イベントは、以下の内容で行われました。年々、このアートイベントへの市民・芸術系大学・アーティストの認知度も上がってきており、中川運河への注目もアップしております。

【平成27年度ARToC10アートイベント実績】

3団体が助成金を受け、中川運河周辺でアートイベントを行いました。

1. 伏木啓+木田歩「中川運河映像インスタレーション」

a. 「wald (ヴァルト)」

中川運河沿いのリンナイ所有の旧部品センター内に設置されたスクリーンに中川運河関連の映像を投影。

旧部品センターでの作業をイメージしたパフォーマンスも実施しました。

(2015年8月28日、29日)



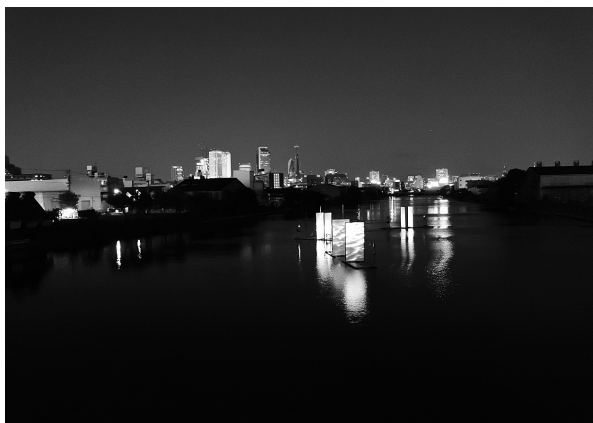
旧部品センター内「wald」

b. 「waltz (ワルツ)」

運河上に設置されたスクリーンに映像を投影。

今年で3年目のこのイベントは、秋の中川運河の風物詩になりつつあります。

(2015年11月12日～15日)



運河上での作品「waltz」

2. シネマスコレ「Filmusic in 中川運河・夏」

中川運河を舞台にした4人の監督が短編映画を製作しました。運河の魅力を新進の映画監督の目で再発掘して頂きました。

シネマスコレ(名古屋市中村区)での上映
(2015年12月12日～2016年1月8日)



3. N-mark「リミコライン・アート・プロジェクト」

中川運河の関心・意識を深める様々なワークショップ・アートイベントを実施

(中川運河 松重開門近くの事務所にて)



地域住民も参加した作品展示会

リンナイは、今後も名古屋市および名古屋都市センターと協力し、中川運河が市民の憩いの場として再生できるよう協力していく予定です。

本件に関するお問い合わせ先

リンナイ株式会社 広報室

電話：052-361-8211 (代表)